

令和 8 年度
琉球大学大学院 理工学研究科
学生募集要項

【推薦特別選抜】

出願期間	令和 7 年 6 月 1 6 日（月）～6 月 2 0 日（金）
試 験	令和 7 年 7 月 2 日（水）
合格者発表	令和 7 年 7 月 2 2 日（火）

【一般選抜】

	第 1 期：筆記型	第 2 期：口頭試問型
出願期間	令和 7 年 7 月 1 8 日（金）～ 7 月 2 5 日（金）	令和 7 年 1 2 月 1 7 日（水）～ 1 2 月 2 3 日（火）
試 験	令和 7 年 8 月 1 3 日（水）	令和 8 年 1 月 2 1 日（水）
合格者発表	令和 7 年 9 月 1 6 日（火）	令和 8 年 2 月 1 0 日（火）

【社会人特別選抜、社会人特別選抜（現職高等教員）】

出願期間	令和 7 年 1 2 月 1 7 日（水）～1 2 月 2 3 日（火）
試 験	令和 8 年 1 月 2 1 日（水）
合格者発表	令和 8 年 2 月 1 0 日（火）

令和 7 年 5 月
琉球大学大学院 理工学研究科
博士前期課程工学専攻

目 次

1. 研究科概要	1
2. 募集人員	2
3. 出願資格	3
4. 出願資格審査	4
5. 出願期間	5
6. 出願手続	6
7. 研究指導に関する事前相談	13
8. 試験の日時及び場所	13
9. 選抜方法（入試科目）	14
10. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）	19
11. 合格者発表	20
12. 入学手続等	20
13. 安全保障輸出管理	21
14. 長期履修制度	21
15. 個人情報の取扱い	21
16. 2次募集	22
17. 問い合わせ先	22
18. 入試統計（志願者数、合格者数）の公開	22
19. 過去問の開示	22
20. 理工学研究科博士前期課程工学専攻研究内容	23

1. 研究科概要

人材の養成及び教育・研究上の目的

工学分野における高度な専門知識と研究開発・研究遂行能力を身につけ、国際社会に貢献できる人材を養成する目的を実現するため、ディプロマ・ポリシーを以下のとおりとします。

- (1) 工学分野における高度な専門知識及び技術とその応用力を身につけます。
- (2) 専門分野の知識と技術を活用し、広い視野を持って工学分野の問題に対し、状況把握と課題設定ができ、実践的で創造的な解決力を身につけます。
- (3) 多様な人々と連携できるコミュニケーション能力及び論理的説明が可能なプレゼンテーション能力を身につけます。
- (4) 技術者、研究者としての社会的責任を理解し高い倫理性に基づき行動することができる能力を身につけます。

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

社会から工学系に求められている高度専門知識と技術を修得し、技術者・研究者として広く国内外で活躍する意欲のある人材を求めます。

2. 募集人員

推薦特別選抜

専攻	プログラム名	目安募集人員
工学	機械システム工学	4名程度
	電気電子工学	4名程度
	社会基盤デザイン	2名程度
	建築学	2名程度
	システム情報工学	7名程度
	知能情報	11名程度

(注) 合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員分を一般選抜（筆記型）の募集人員に加えます。

一般選抜（筆記型・口頭試問型）

専攻	プログラム名	第1期 (筆記型) 目安募集人員	第2期 (口頭試問型) 目安募集人員
工学	機械システム工学	5名程度	2名程度
	電気電子工学	4名程度	2名程度
	社会基盤デザイン	3名程度	1名程度
	建築学	3名程度	1名程度
	システム情報工学	4名程度	1名程度
	知能情報	6名程度	1名程度

注1. 一般選抜は第1期と、第2期に分けて選抜試験を実施します。

注2. GE プログラム特別選考（学内者限定選考：定員 35 名程度）、推薦特別選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その満たない人数を 第1期の募集人員へ加えます。

注3. 第2期の募集人員には、社会人特別選抜・社会人特別選抜（現職高校教員）を含みます。

社会人特別選抜、社会人特別選抜（現職高校教員）

専攻	プログラム名	目安募集人員
工学	機械システム工学	若干名
	電気電子工学	若干名

	社 会 基 盤 デ ザ イ ン	若干名
	建 築 学	若干名
	シ ス テ ム 情 報 工 学	若干名
	知 能 情 報	若干名

3. 出願資格

※次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 令和 8 年 3 月 31 日時点で大学に 3 年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた者（※次の『4. 出願資格審査』が必要です）

(10) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（※次の『4. 出願資格審査』が必要です）

(11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者（※次の『4. 出願資格審査』が必要です）

※（9）の出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上は「退学」となります。したがって、大学の学部を卒業していることを要件として定められている種々の国家試験等の資格試験は受験できなくなりますので注意してください。

4. 出願資格審査

出願資格の（9）、（10）、（11）に該当する者については、出願資格の事前審査を受ける必要があります。事前審査の日程及び必要書類等については下表のとおりです。

（1）推薦特別選抜、一般選抜（筆記型、口頭試問型）

事 項	推薦特別選抜	第 1 期 一般選抜（筆記型）	第 2 期 一般選抜（口頭試問型）、 社会人特別選抜・社会人 特別選抜（現職高校教員）
書類提出 期間	令和7年6月2日（月）～ 6月4日（水）	令和7年6月30日（月）～ 7月2日（水）	令和7年12月1日（月）～ 12月3日（水）
書類提出 場所	工学部学務係（工学部 1 号館 1 階事務室）		
審査結果 の通知	令和 7 年 6 月 13 日（金） 付け	令和 7 年 7 月 9 日（水） 付け	令和 7 年 12 月 10 日（水） 付け

（2）必要書類

出願資格の（9）の審査に係る必要書類

- ① 事前審査申請書
- ② 成績証明書（最新のもの）
- ③ 在学証明書
- ④ 履修手引き（授業内容一覧及び卒業要件が記載されたもの）

出願資格（９）で必要とされる学業成績

本出願資格における「**優れた学業成績**」とは以下の３つの条件を満たすものとします。

- ① ３年次までに修得する必要がある必修科目の全部を修得すること。
- ② 修得した選択科目を含め卒業要件単位数の 90%以上の単位を修得すること。
- ③ 修得単位中の点数評価 80 点に相当する単位が指定の割合（下表参照）に達すること。

修得単位中の点数評価 80 点以上に相当する単位の割合	
出 願 時	令和 8 年 3 月末
9 5 %以上	9 5 %以上

〈注意事項〉

※ 入学試験に合格した後、令和 8 年 3 月末までに、学業成績の条件を満たさなければ入学を許可しません。

※ 一般選抜に出願予定の者で、現在有職であるか、又は入学後有職となることが予定されている者は、必ず事前に志望プログラムの予定指導教員と面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

出願資格（１０）（１１）の事前審査に係る必要書類

- ① 事前審査申請書
- ② 最終出身学校卒業・修了証明書
- ③ 最終出身学校成績証明書
- ④ 研究・教育歴証明書（研究・教育内容要旨を含む）

※参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付できます。

5. 出願期間

（１）推薦特別選抜

令和 7 年 6 月 16 日（月）～ 6 月 20 日（金）

（２）一般選抜

①第 1 期：筆記型

令和 7 年 7 月 18 日（金）～ 7 月 25 日（金）

②第 2 期：口頭試問型

令和 7 年 12 月 17 日（水）～ 12 月 23 日（火）

③社会人特別選抜・社会人特別選抜（現職高校教員）

令和 7 年 12 月 17 日（水）～ 12 月 23 日（火）

6. 出願手続

(1) 出願書類

出願者は、下記の書類を添えて、工学部学務係（工学部 1 号館 1 階事務室）の提出先へ提出してください。なお、郵送の場合は、封筒に「大学院入学志願書（博士前期課程）」と朱書してください。

〈注意事項〉

受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
また、出願書類の偽造や内容の改ざん、記載と相違する事実が判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

【推薦特別選抜】

出 願 書 類 等 名 称	注 意 事 項
① 入学願書、受験票 (写真2葉)	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。 (出願前 3 ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし、受験票と入学願書に貼付してください。裏面に氏名を記入してください。)
② 志願者整理票	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。
③ 卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。
④ 成績証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。
⑤ 検定料納入証明書 (大学用) 及び振込明 細等	下記期間に検定料を振り込んだ検定料納入証明書及び振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し(ATM 又はインターネットバンキング利用の場合。) <u>検定料振込期間：令和 7 年 6 月 16 日(月)～6 月 20 日(金)</u> <u>※ただし、海外からの学納金収納サービス(Convera GlobalPay)を利用する場合は、以下の期日までに納入すること。</u> <u>令和 7 年 6 月 16 日(月)</u>
⑥ 研究計画概要	本募集要項所定の様式に従って作成してください。
⑦ 卒業研究概要	本募集要項所定の様式に従って作成してください。
⑧ 推薦書	本募集要項所定の様式に従って在籍している大学の学部の学科長等（コース長、指導教員含む）若しくは高等専門学校長（専攻科長含む）が作成し、厳封したもの。

⑨外国語（英語） 試験スコア票	TOEFL－iBT、TOEFL－ITP、TOEIC（TOEIC Listening & Reading又はTOEIC Speaking & Writingのいずれか。）、TOEIC－IP（TOEIC Listening & Reading又は、TOEIC Speaking & Writingのいずれか。）、GTEC Academic（2技能又は4技能のいずれか。）、GTEC Business（2技能又は4技能のいずれか。）、Duolingo English Testのいずれかのスコア票（コピーも可とする）を提出すること。（複数提出も認めます。その場合は、有利なスコアを採用します。）。ただし、スコア票は令和5年4月1日以降受験のものに限ります。また、上記スコア以外のスコア票を利用したい場合は、事前に工学部学務係へ連絡すること。
⑩受験承諾書	現在、他の大学院に在学中の者又は在職中の者は、本募集要項所定の用紙を用い、その長の受験承諾書を提出すること。
⑪学位を取得していることを証明する書類	出願資格の「（6）外国大学の修了者等」又は「（8）文部科学大臣の指定した者」の場合、提出すること。
⑫学士の学位申請予定証明	高等専門学校専攻科からの志願者は提出すること（出身学校所定のもの）。
⑬返信用封筒 （受験票送付用）	受験票の郵送を希望する者は、長3封筒（縦23 cm×横12 cm）に410円切手（速達）を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。 ※工学部事務室にて直接受取を希望する場合は不要 ※受験票配付期間：令和7年6月25日（水）～7月1日（火）9時00分から17時15分（12時から13時を除く）※平日のみ

【一般選抜（第1期：筆記型）、（第2期：口頭試問型）】

出 願 書 類	注 意 事 項
① 入学願書、受験票 （写真2葉）	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。 （出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし、受験票と入学願書に貼付してください。裏面に氏名を記入してください。）
②志願者整理票	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。

③卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。
④成績証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。
⑤検定料納入証明書 （大学用）及び振込明 細等	下記期間に検定料を振り込んだ検定料納入証明書及び振込日時、 振込金額がわかる明細や画面コピーの写し（ATM 又はインターネ ットバンキング利用の場合。） 検定料振込期間 <u>（第1期）：令和7年7月17日（木）～7月25日（金）</u> <u>（第2期）：令和7年12月16日（火）～12月23日（火）</u> ※ただし、海外からの学納金収納サービス（Convera GlobalPay） を利用する場合は、以下の期日までに納入すること。 <u>（第1期）：令和7年7月17日（木）</u> <u>（第2期）：令和7年12月16日（火）</u>
⑥外国語（英語）試験 スコア票	TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、TOEIC（TOEIC Listening & Reading又はTOEIC Speaking & Writingのいずれか。）、 TOEIC-IP（TOEIC Listening & Reading又は、TOEIC Speaking & Writingのいずれか。）、GTEC Academic（2技能又 は4技能のいずれか。）、GTEC Business（2技能又は4技能の いずれか。）、Duolingo English Testのいずれかのスコア票 （コピーも可とする）を提出すること。（複数提出も認めます。 その場合は、有利なスコアを採用します。）。ただし、スコア 票は<u>令和5年4月1日以降受験のもの</u>に限ります。また、上記スコ ア以外のスコア票を利用したい場合は、事前に工学部学務係 へ連絡すること。
⑦受験承諾書	<u>現在、他の大学院に在学中の者又は在職中の者は、本募集要項所 定の用紙を用い、その長の受験承諾書を提出すること。</u>
⑧学位を取得してい ることを証明する 書類	<u>出願資格の「（6）外国大学の修了者等」又は「（8）文部科学大 臣の指定した者」の場合、提出すること。</u>
⑨学士の学位申請予 定証明	<u>高等専門学校専攻科からの志願者は提出すること（出身学校所定 のもの）。</u>

⑩返信用封筒 (受験票送付用)	<u>受験票の郵送を希望する者は、長3封筒(縦23cm×横12cm)に410円切手(速達)を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。</u> ※受験票配付期間： (第1期) 令和7年8月6日(水)～8月12日(火) (第2期) 令和8年1月14日(水)～1月20日(火) 9時00分から17時15分(12時から13時を除く) ※平日のみ
--------------------	---

【社会人特別選抜及び社会人特別選抜（現職高校教員）】

出 願 書 類	注 意 事 項
①入学願書、受験票 (写真2葉)	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。 (出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし、受験票と入学願書に貼付してください。裏面に氏名を記入してください。)
②志願者整理票	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。
③卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。
④成績証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。
⑤検定料納入証明書 (大学用) 及び振込 明細等	下記期間に検定料を振り込んだ検定料納入証明書及び振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し(ATM又はインターネットバンキング利用の場合。) <u>令和7年12月16日(火)～12月23日(火)</u> <u>※ただし、海外からの学納金収納サービス(Convera GlobalPay)を利用する場合は、以下の期日までに納入すること。</u> <u>令和7年12月16日(火)</u>
⑥研究計画概要	本募集要項所定の様式に従って作成してください。
⑦受験承諾書	<u>大学院に在学中の者又は在職中の者は、本募集要項所定の用紙を用い、その長の受験承諾書を必要とします。</u>
⑧研究業績報告書	<u>研究業績(卒業論文、研究報告書、学術論文)を有する者は、その概要を本募集要項所定の用紙にまとめて提出すること。</u>
⑨学位を取得していることを証明する書類	<u>出願資格の「(6)外国大学の修了者等」又は「(8)文部科学大臣の指定した者」の場合、提出すること</u>

⑩返信用封筒（受験票送付用）	受験票の郵送を希望する者は、長3封筒（縦23 cm×横12 cm）に410円切手（速達）を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。 ※受験票配付期間：令和8年1月14日（水）～1月20日（火）9時00分から17時15分（12時から13時を除く）※平日のみ
----------------	---

（２）出願方法

出願書類を「書留速達」で所定の期間内に提出先に郵送してください。（必着のこと）
直接持参する場合の受付時間は、9時00分から17時15分（12時から13時を除く）までとします。ただし、平日のみで、土曜、日曜及び祝日は、受付をしません。

（３）提出先

工学部 学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電 話 098-895-8583（直通）

F A X 098-895-8590

E メール kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

（４）検定料振込

①検定料 30,000 円（所定の「検定料振込書」を使用してください。）

②振込期間

上記【6. 出願手続】を参照。

③振込方法

振込は、1. 銀行窓口、2. A T M又はインターネットバンキングを利用することができます。なお、振込の際には金額の誤りに十分ご注意ください。

また、振込手数料については、志願者本人負担となります。

1. 銀行窓口

・ 検定料振込書に必要事項を記入のうえ、検定料振込書に記載の「記入上の注意」をよく読み、最寄りの金融機関から振り込んでください。

・ 氏名を記入した「検定料納入証明書（大学提出用）＊1」の原本を出願書類に同封して提出してください。

＊1 「検定料納入証明書（大学提出用）」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印が押印されていること。

2. A T M又はインターネットバンキング

※ATM 利用の場合はキャッシュカードを利用し振り込んでください。

・振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分（理工学研究科（工学系）博士前期課程は 451）を入力してください。

例)

4	5	1	タ	ゝ	イ	カ	ゝ	ク	タ	ロ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

・氏名を記入した「検定料納入証明書（大学提出用）＊1」の原本及び「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し＊2」を出願書類に同封して提出してください。

＊1 「検定料納入証明書（大学提出用）」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印は必要ありません。

＊2 「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」の裏面に募集区分（理工学研究科（工学系）博士前期課程は 451）・氏名を記入してください。

～海外からの支払いを希望する方へ

本学においては、海外からの学納金収納サービス（Convera GlobalPay）を導入しております。海外からの支払いを希望する方は、下記サイトにアクセスし、必要事項を入力の上、検定料の支払いを行ってください。

二次元コード

Convera GlobalPay for Students: <https://students.convera.com/ryukyuac.jp>



なお、当該サービスを利用する場合は、送金に時間を要することがありますので、「6. 出願手続」で指定する期日までに手続きください。

詳しくは、大学ホームページ内「How to Pay Student Fees from Overseas」をご覧ください。

二次元コード

琉球大学ホームページ（授業料等）: <https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/fee/>



留意事項

ア. 検定料が振り込まれていない場合、「検定料納入証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、1. 銀行窓口利用で「検定料納入証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合及び 2. ATM 又はインターネットバンキング利用で「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」が出願書類に同封されていない場合は、出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ①検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。
- ②誤って検定料を二重に振り込んだ場合。
- ③特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合。

※上記①、②に該当する場合は、以下のとおり返還手続きを行ってください。

検定料払戻：請求受付 URL：<https://forms.office.com/r/5WGkRXi4Qc>

※返還には請求情報登録後、1ヶ月程度かかります。

二次元コード



申請期限：令和8年3月31日（火）

お問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL098-895-8058

※上記③に該当する場合は（5）④の手続を行ってください。

（5）災害等による入学検定料の特例措置

琉球大学では、令和8年度の大学院入学者選抜に関して、文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施することとしましたのでお知らせします。

①措置内容

検定料の免除：30,000円

②免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類（写し）
1）災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
2）居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

●文部科学省から配慮依頼がある災害等

- ・東日本大震災関連情報：文部科学省 HP

(https://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/)

- ・熊本県熊本地方を震源とする地震について：

文部科学省 HP (https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm)

- ・その他の災害：文部科学省 HP

(https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm)

③申請の方法 申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、罹災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ「6. 出願書類（3）提出先」へ提出してください。

④検定料を誤って納入した場合

本特例措置に該当するにも関わらず、誤ってした検定料の返還を希望する場合は、上記（4）留意事項に沿って返還を申請してください。申請後、検定料を返還します。

※返還申請期限 令和8年3月31日（火）

（お問い合わせ先）〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 電話 098-895-8058

7. 研究指導に関する事前相談

- ・出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り、研究内容等について相談のうえ出願書類を提出してください。
- ・社会人特別選抜及び社会人特別選抜（現職高校教員）出願者においては、必ず志望プログラムの希望指導教員との面談を行い、研究内容や修学条件等について十分確認を行ってください。

8. 試験の日時及び場所

	推 薦 特 別 選 抜	一般選抜（筆記型）	一般選抜（口頭試問型）、社会人特別選抜、社会人特別選抜（現職高校教員）
試験日	令和7年7月2日（水）	令和7年8月13日（水）	令和8年1月21日（水）
予備日	令和7年7月4日（金）	令和7年8月15日（金）	令和8年1月23日（金）
集合時刻	試験日前日 13:00 までに	試験日前日 13:00 までに	試験日前日 13:00 までに

及び 試験室	工学部 1 号館玄関前に掲 示します。	工学部 1 号館玄関前に掲 示します。	工学部 1 号館玄関前に掲 示します。
-----------	------------------------	------------------------	------------------------

※予備日とは、暴風警報の発令等で本来の試験日に試験が実施できない場合の試験日です。

9. 選抜方法（入試科目）

【推薦特別選抜】

- （１） 入学者の選抜は、試験の成績及び出願書類を総合得点により順位付けし、合格者を決定します。
- （２） 試験科目は、口頭試問です。卒業研究、入学後の研究計画、志望動機などについての口頭による説明に対して審査します。
- （３） 配点

配 点		
学業成績	英語スコア	口頭試問
400	100	200

（４） 注意事項

- ①出願後、出願事項の変更は認めません。
- ②試験当日は、集合時刻までに各試験室又は控室へ到着してください。
- ③集合時刻から 30 分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
- ④推薦特別選抜で合格しなかった者は、一般選抜（筆記型、口頭試問型）に出願することができます。一般選抜募集要項に従って出願してください。なお、一般選抜に出願する際には、別途検定料の納入が必要です。

【一般選抜】

- （１） 入学者の選抜は、学力検査、出願書類の総合得点及び面接により総合的に合格者を決定します。

(2)

① (第1期：筆記型) 試験科目及び試験時間等

志願者は、各志望プログラムの試験開始 30 分前に各試験室又は控室へ集合してください。

プログラム名	試験科目 (筆記試験)	試験時間
機械システム工学	〔専門科目〕 材料力学, 機械材料及び機械工作法, 流体力学, 熱力学, 制御工学の内から出願時に 2 科目を選択 (関数機能をもつ電池式電卓の使用を認めます。)	9 : 00 ~ 10 : 30
	〔数学〕 工業数学 (常微分方程式, 線形代数)	10 : 50 ~ 11 : 30
	面 接	13 : 30 ~
電気電子工学	〔専門科目〕 電磁気学, 工業数学, 回路理論 * 全 6 問中 4 問を選択する。各科目から 1 問は必ず選択する。	9 : 00 ~ 11 : 00
	面 接	13 : 30 ~
社会基盤デザイン	〔専門科目〕 構造力学, 土質力学, 水理学, 土木計画, 建設材料学, 建設情報学 * 出願時に 2 科目を選択	9 : 00 ~ 10 : 30
	面 接	13 : 30 ~
建築学	〔専門科目〕 建築計画学, 都市計画学, 建築環境工学, 建築構造力学, 建築防災工学 * 出願時に 3 科目を選択	9 : 00 ~ 10 : 30
	面 接	13 : 30 ~

システム情報工学	以下の5つの試験系統のなかから選択する。 ①機械系 〔専門科目〕 材料力学, 機械材料及び機械工作法, 流体力学, 熱力学, 制御工学の内から出願時に2科目を選択(関数機能をもつ電池式電卓の使用を認めます。) 〔数学〕 工業数学(常微分方程式, 線形代数) ②電気電子系 〔専門科目〕 電磁気学, 工業数学, 回路理論 * 全6問中4問を選択する。各科目から1問は必ず選択する ③社会基盤系 〔専門科目〕 構造力学, 土質力学, 水理学, 土木計画, 建設材料学, 建設情報学 * 出願時に2科目を選択 ④建築系 〔専門科目〕 建築計画学, 都市計画学, 建築環境工学, 建築構造力学, 建築防災工学 * 出願時に3科目を選択 ⑤知能情報系 〔数 学〕 線形代数, 確率及び統計 * なお, 工学系数学会統一試験(EMaT)のスコア(線形代数, 確率・統計)を用いることができる。ただし, <u>EMaTスコアの利用を希望する場合は入学願書及び受験票にその旨を記載し, スコアを添付するものとする。</u> また, 選択する2科目のスコアは, 同一回の試験で実施	①機械系 〔専門科目〕 9:00~10:30 〔数学〕 10:50~11:30 ②電気電子系 9:00~11:00 ③社会基盤系 9:00~10:30 ④建築系 9:00~10:30 ⑤知能情報系 〔数学〕 9:00~10:00 〔専門科目〕 10:10~11:30
----------	---	--

	したものでなければならない。 〔専門科目〕 情報分野における課題解決に関する論述	
	面 接	13 : 30～
知能情報	〔数 学〕 線形代数, 確率及び統計 * なお, 工学系数数学統一試験 (EMaT) のスコア (線形代数, 確率・統計) を用いることができる。ただし, <u>EMaT スコアの利用を希望する場合は入学願書及び受験票にその旨を記載し, スコアを添付するものとする。</u> また, 選択する 2 科目のスコアは, 同一回の試験で実施したものでなければならない。	9 : 00～10 : 00
	〔専門科目〕 情報分野における課題解決に関する論述	10 : 10～11 : 30
	面 接	13 : 30～

②（第 2 期：口頭試問型）の試験科目及び試験時間等

志願者は, 試験開始 30 分前に各志望プログラムの各控室へ集合してください。

プログラム名	試験科目	試験時間
全プログラム	卒業研究に関連した口頭試問等及び面接	9 : 00～12 : 00

(3) 配点

①第1期：筆記型

配 点			
学業成績	英語スコア	筆記試験	面接
200	100	400	(合・否)

②第2期：口頭試問型

配 点			
学業成績	英語スコア	口頭試問	面接
200	100	400	(合・否)

(4) 注意事項

- ①出願後、出願事項の変更は認めません。
- ②試験当日は、試験開始 30 分前（面接においては集合時刻）までに各試験室又は控室へ到着してください。
- ③試験開始時刻（面接においては集合時刻）から 30 分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

【社会人特別選抜・社会人特別選抜(現職高校教員)】

- (1) 社会人特別選抜及び社会人特別選抜(現職高校教員)の入学者選抜は、書類審査、小論文及び面接（口頭試験含む）の結果を総合得点により順位付けし、合格者を決定します。
- (2) 試験科目及び試験期日等（社会人特別選抜及び社会人特別選抜(現職高校教員)）
志願者は、試験開始 30 分前に各志望プログラムの控え室へ集合してください。

プログラム名	試験科目	時 間
全プログラム	小論文	10：00～11：30
	面 接	13：00～

(3) 配点

配 点	
学力検査等（小論文）	面 接
100	(合・否)

(4) 注意事項

- ①出願後、出願事項の変更は認めません。
- ②試験当日は、試験開始 30 分前までに、(面接(口頭試問)においては集合時刻) までに各控室へ到着してください。
- ③試験開始時刻(面接(口頭試問)においては集合時刻)から 30 分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

10. 障がい等のある入学志願者(受験時における合理的配慮等)

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには2～3週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いします。

受験時に限らず、入学後における修学上の配慮希望については、随時相談を受け付けておりますので、以下の問い合わせ先までご相談ください。

(1) 申請期限

申請期限は、出願開始日を含めない2週間前の日(消印有効)とします。

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。

※なお、申請期限後に不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)のため、受験上の配慮を希望する場合は、問い合わせ先までご相談ください。

(2) 申請方法

以下の書類を、障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

- ①「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」(本学指定の様式)
 - ②「医師からの意見書」(受験生用)(本学指定の様式)
 - ③その他相談する際に必要な参考資料
- 上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ(<https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp>)「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

全保連ステーション（大学会館）2 階

琉球大学障がい学生支援室

電話：098-895-8750FAX：098-895-8791

E-mail：g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

1 1. 合格者発表

推 薦 特 別 選 抜	令和 7 年 7 月 22 日（火）13:00 頃
（第 1 期）一般選抜（筆記型）	令和 7 年 9 月 16 日（火）13:00 頃
（第 2 期）一般選抜（口頭試問型）	令和 8 年 2 月 10 日（火）13:00 頃
社会人特別選抜・社会人特別選抜（現職 高校教員）	令和 8 年 2 月 10 日（火）13:00 頃

工学部 1 号館 1 階事務室前に掲示するとともに、琉球大学大学院理工学研究科ホームページ（琉球大学工学部ホームページ内）に掲載します。また、合格者へは郵送にて通知します。不合格者への通知は行いません。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

1 2. 入学手続等

（1）入学手続期間

入学手続期間等については、令和 8 年 3 月を予定しております。

（2）入学料及び授業料

入学料は銀行振込です。詳細は入学手続案内で通知します。

入学料 282,000 円（予定額）

授業料（前期分）267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

（注）①上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③琉球大学には入学料の免除又は徴収猶予、あるいは授業料の全額又は半額を免除する制度があります。対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。また、所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又

は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の徴収を猶予します。

- (3) 入学手続きの詳細については、別途合格者に対して「入学手続案内」を令和8年3月上旬までに送付します。

13. 安全保障輸出管理

琉球大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「国立大学法人琉球大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入に際し、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、外国人留学生の方はなるべく出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取るようになしてください。

14. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限（2年間（4学期））を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長4年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、あらかじめ事前に指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談のうえ、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

15. 個人情報の取扱い

- (1) 本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、次のとおり利用又は提供しますので、あらかじめご了承ください。

- ①入学者選抜、合格発表及び入学手続に係る業務で利用します。
- ②入学手続者及びその保護者等の住所・氏名等につき、学生支援関係業務（健康診断、入学料免除、入学料徴収猶予、授業料免除、奨学生採用、就職支援、入寮手続等）、教務関係業務（学籍管理、修学指導、成績管理等）、納入金関係業務（授業料徴収等）で利用します。
- ③入学者選抜に係る統計処理及び調査研究で利用します。なお、統計処理及び調査研究の結果発表を行う際は、個人が特定できないよう配慮します。
- ④本学の関連団体である琉球大学同窓会、琉球大学後援財団、各研究科等同窓会、各研究科等後援会及び琉球大学生生活協同組合に、氏名等の個人情報を当該組織

の活動に必要な範囲において提供する場合があります。

(2) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は勤務先等に通知する場合に利用します。

(3) 本研究科が入学選抜を通じて取得した個人情報、上記及び個人情報の保護に関する法律第18条、第27条及び第28条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

16. 2次募集

合格者が募集人員に満たない場合は、第2次募集の試験を実施します。第2次募集による選抜試験は、令和8年3月に予定しています。

17. 問い合わせ先

琉球大学 工学部 学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話 098-895-8583 (直通)

FAX 098-895-8590

Eメール kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

18. 入試統計（志願者数、合格者数等）の公開

入試に関する統計を以下より公開しています。

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/>

19. 過去問の開示

受験希望者の方のために、過去の入試問題を閲覧公開しています。

閲覧時間：11:00～16:30 (12:00～13:00を除く) ※平日のみ

閲覧場所：工学部各コース事務室、又は受入予定教員へお尋ねください。

閲覧に必要なもの：身分証等

閲覧方法：各コース事務室の指示に従ってください。

20. 理工学研究科（博士前期課程）工学専攻研究内容

プログラム名	研 究 内 容
機械システム工学	傾斜機能材料，多孔質体，金属，プラスチック，セラミックス，電析薄膜，電気化学測定法，相転移論，射出成形，鋳造，塑性加工，切削加工，研削，溶接，溶射，合金接合，腐食，防食，腐食疲労，疲労破壊，転位組織，摩耗，塑性力学，塑性構成式，破面解析，破壊力学，計算機シミュレーション（有限要素法，有限差分法，境界適合要素法，モンテカルロ法）
	凝縮熱伝達，熱交換器，伝熱促進・制御，電子機器の冷却，二酸化炭素の分離回収，CCS（二酸化炭素固定化），クラスレートハイドレート，分離技術，濃縮技術，海水淡水化，内燃機関，噴霧の微粒化と着火燃焼，プラズマ工学，溶接工学，非定常流れ，乱流境界層，流体関連振動，混相流，数値流体力学，流体計測，流れの可視化，風力エネルギー，水素エネルギー，燃料電池，移動現象
	画像処理，信号処理，最適制御，ロバスト制御，神経回路網，遺伝アルゴリズム，応用振動工学，ロボットビジョン，非線形制御，可視化画像・情報解析
電気電子工学	電気機器制御，自然エネルギー，エネルギー変換，パワーエレクトロニクス，プラズマの発生と制御，電力工学，電力系統工学，磁性材料，磁気応用，現代制御理論，知的制御，非線形制御，生体医工学，大気電気学
	機能性薄膜材料，薄膜半導体プロセス，有機エレクトロニクス，プラズマ応用，多値論理回路の合成，超高速演算回路の設計，量子計算機の設計，ソフトコンピューティングと画像処理，情報通信工学，光伝送工学
社会基盤デザイン	社会システム計画学，災害リスクマネジメント，交通計画，観光地域計画，景観デザイン，参加型まちづくり，海岸工学，海洋開発工学，河川工学砂防工学，応用連続体力学，数値流体力学，土質力学，岩盤力学，地盤環境工学，応用地質学，地盤防災，鋼構造，橋梁工学，座屈・耐荷力，疲労，腐食，塩害環境評価，コンクリートの材料分析・材料設計，コンクリート構造物の耐荷性・耐久性・耐震性，劣化環境評価，各種劣化診断・予測，維持管理・モニタリング技術，混和材の有効利用
建築学	建築計画，建築意匠，建築史，住宅計画，持続可能建築，省エネルギー建築，都市熱環境，建築熱環境，数値流体力学，騒音制御，音響設計，都市計画，地域開発，ランドスケープ，鉄筋コンクリート構造，補強コンクリートブロック構造，木質構造，耐震性能，耐震補強，鉄筋コンクリートの耐久性，塩害環境評価，複合材料，建築材料，フレッシュコンクリートのレオロジー，計算力学，環境シミュレーション，フライアッシュの有効利用，非線形解析，有限要素解析，機械学習

システム情報工学	機械学習，深層学習，人工知能，データマイニング，無線通信システム，生体医工学，交通計画，数値流体力学，劣化環境評価，各種劣化診断・予測，モニタリング技術，環境シミュレーション，画像処理，計算工学，非線形制御
知能情報	人工知能，知能ロボット，知能情報処理，機械学習，データサイエンス，データマイニング，確率モデル，計算工学，アルゴリズム，並列処理，情報源符号化，伝送，情報セキュリティ，ヒューマンコンピュータインタラクション，UI/UX，マルチメディア情報処理，メディア通信，信号処理，無線通信，生体情報処理，人工社会システム，人間拡張工学，サービス工学